

# 原爆投下部隊

第509混成群団と原爆・パンプキン



工藤 洋三・金子 力

幅 250mm × 高さ 240mm 並製本カバー掛け 210 ページ 定価 2800 円 + 消費税 ISBN978-4-9907248-1-8 2013 年 8 月 1 日発行

## 目 次

- 第 1 章 原爆投下部隊
  - 第 2 章 ティニアン島と第 509 混成群団
  - 第 3 章 原爆投下目標都市
  - 第 4 章 模擬原爆パンプキンと投弾方法
  - 第 5 章 7 月 20 日の作戦
  - 第 6 章 7 月 24 日の作戦
  - 第 7 章 7 月 26 日の作戦
  - 第 8 章 7 月 29 日の作戦
  - 第 9 章 広島への原爆投下
  - 第 10 章 8 月 8 日の作戦
  - 第 11 章 長崎への原爆投下
  - 第 12 章 8 月 14 日の作戦
- おわりに  
被弾地一覧表

## お申し込み方法

郵便振替用紙に、本のタイトル、住所、氏名、電話番号を記入してご送金ください。通常 1 週間以内にお届けいたします。

郵便振替 01510-1-7343 加入者名称 工藤洋三  
連絡先 〒745-0121 周南市須々万奥 286-3  
FAX 0834-88-2776 E-mail: ykudo@bronze.ocn.ne.jp

この書籍は、以下の場所でも取り扱っています。

(公財) 広島平和文化センターミュージアムショップ  
〒730-0811 広島市中区中島町 1-2 TEL.082-241-5246

(公財) 長崎平和推進協会書籍販売コーナー  
〒852-8117 長崎市平野町 7-8 TEL.095-844-9922

マツノ書店 〒745-0032 山口県周南市銀座 2-13 TEL.0834-21-2195  
<http://www.matuno.com/>

ピースあいち 〒465-0091 名古屋市長区区よもぎ台 2-820 TEL.052-602-4222  
<http://www.peace-aichi.com/>

# 原爆とパンキン

## 第509混成群団による 日本に対する8日間の攻撃を 作戦日ごとに章立てして紹介

本書は、広島・長崎に原爆を投下した部隊、第509混成群団に注目し、その活動と、日本本土に投下された49発のパンキンと広島・長崎に投下された2発の原爆について、写真を中心にまとめたものである。写真を中心に構成することで、原爆投下という歴史的な事実とそこに至る過程をより視覚的で理解しやすい形で紹介したいと考えた。（「あとがき」より）

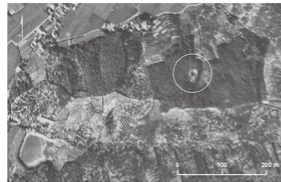
### 被弾地一覧表を大幅に更新

航空写真の分析や被弾地調査により、これまでの被弾地一覧表に、投弾時刻や照準点を追加して、内容を大幅に更新した。

調査の結果、東洋レーヨン製紙工場に対するパンキン攻撃など米軍による投弾直後の新たな写真が見つかったほか、パンキン爆発直後に地上で撮影された写真も発掘した。これらの写真の中には、7月26日の富山市豊田本町や大阪市東住吉区東本町で爆発したパンキンによる惨状の写真が含まれている。



大阪市東住吉区田辺本町の料亭「金剛荘」（現在田辺2丁目）で爆発したパンキンによる被害を撮影した写真。（毎日新聞社提供）



戦後撮影された航空写真に残る和歌山県有田市初島の被弾地



広島上空に広がるキノコ雲

原爆投下から約1時間後に撮影された写真と説明されることが多かった写真だが、実は4時間後に写真偵察機が撮影した写真だった。（広島平和記念資料館提供）

### 原爆目標都市選定の経緯を解明

原爆の目標都市は、日本の重要な都市の中で、これまでに爆弾や焼夷弾の被害を受けていないものが望ましいとされた。1945年4月になると、目標選定委員会ができて、原爆を投下する都市の検討が本格的に開始された。5月28日に開催された第3回目選定委員会では、横浜、小倉造船廠が解除され、京都、広島、新潟が選定された。これまで、横浜は解除された直後の5月29日に空襲を受けた、と解釈されてきた。本書ではこれに先立つ5月15日の電文G-15-11によって、原爆投下目標都市が予約されたことを明らかにし、横浜はこの電文ですでに目標から外されていたことを示した。

### リトルボーイ投弾予定時刻は8時15分

広島攻撃の命令書には、味方機に対して、「攻撃時刻の4時間前から攻撃時刻の6時間後までの間の時間は、この攻撃のために選ばれたどの目標に対してでも、50マイル[80km]以内に入ってはならない。」とある。これは、攻撃予定時刻があらかじめ設定されていたことを意味している。そのことを示すのがマリアナから陸軍省に宛てた8月4日の電文で、ルメイがリトルボーイの投下を、8月6日8時15分に仮設定したことが記されている。8時15分に投弾することはあらかじめ予定されていたのである。

### 初めて明らかにされる多くの事実

本書では、原爆投下に専任する部隊を創設しなければならなかった理由や、原爆投下訓練に使用する爆弾がなぜファットマン型だったのかなど、原爆投下に関する多くの疑問に答えている。また、原爆の搭載機への積み込みに当たっては、リトルボーイもファットマンも同じ搭載用ピットを使用したことを明らかにした。

300枚を超える写真と図で原爆投下部隊の作戦を解明